立川中学校部活動地域移行事例発表

庄内町部活動改革説明会 令和6年7月8日

町のパターン②「スポーツ少年団」での移行を目指して(令和7年度)

<クラブの現状について>

- スポーツ少年団に中学生も登録(4名)現在幼稚園児から中学生まで26名在籍
- 日本スポーツ協会(加盟団体)には、小学生1年生以上が登録
- 指導者3名(いずれも町の外部指導者登録、JSPO公認有資格保有)
- 幼・小・中学生が、それぞれのガイドラインに沿って同会場で一緒に練習している
- 中学生の大会参加実績
 - 中体連主催の大会(地区大会はなしで、県大会、東北大会、全国大会)
 - 県体操(スポーツ)協会主催の大会(国スポ県予選会、東北予選会):選手登録
 - ・ ジュニア体操協議会(県ジュニア大会、東北ジュニア大会):加盟金の納入

<地域移行へ向けて>

- 休日のみならず、平日練習も地域移行へ(現在実施中)
 - ~ スポ少C-1活動で、段階Iの状況
 - → スポ少で地域移行への期待(資料A・B「スポーツ少年団の将来像」参照)
- 中体連への登録申請に向けて(R 6年度、体操は県で3件登録済) <提出書類> (資格細則:資料C)
 - ① 【様式1】地域クラブ活動登録申請書の作成、提出
 - ② 【様式2】地域クラブ活動登録要件チェックリストの作成、提出
 - ③ 大会参加生徒名簿 (別紙1)
 - ④ 規約 (別紙2)
 - ⑤ 競技団体登録「体操協会登録」 (別紙3)
 - ⑥ 募集していることが判断できるもの「町スポーツ少年団募集要項」(別紙4)
 - ⑦ 組織名簿「特に、会計・監査も」 (別紙5)
 - (8) 公認スポーツ指導者資格保有状況 (別紙6)
 - ⑨ 活動計画書(活動状況がわかるもの3ヶ月分) (別紙7)
 - ⑩ 傷害保険等の加入確認ができるもの (別紙8)
 - ~ 以上の書類を提出し、手続き料3,000円を納入する。

<大会参加に当たっての条件>

- 監督、引率、役員、審判等は、クラブより派遣する。
- 大会に関わる経費も、クラブ及び保護者(受益者)負担とする。
- ※ 学校からの旅費等が出なくなるので、保護者の負担増が考えられる。
- ※ スポーツ少年団としては、指導者謝金(月謝等)を保護者から徴収していないので、 持続可能な財政支援が必要ではないか。(町からの若干の助成はあるが)

<全国中学校体育大会の動向> (資料D)

○ 体操競技の全国大会の取り止め(2027年度から、現在の小4年生が対象)~ 代替え大会の検討(体操競技は、U-15大会か?)

<スポーツ少年団と総合型クラブの今後> (資料E)

○ スポ少も「ジュニア・ユース」として、総合型との連携がなされて行くようです。 ~ 近い将来、「スポ少」の名称も変更されて行くでしょう。

スポーツ少年団における中学生への期待

■スポーツ少年団の将来像―抜粋―

今後の取り組みの方向性と活動目標

- (1)子どもたちのからだとこころを育てる
- (2)子どもたちや地域社会のニーズに応える組織の構築
 - ①子どもたちのニーズに応える組織
 - ・子どもたちの年齢や能力を考慮した様々なスポーツニーズに応えられる組織として再構築
 - ②地域社会から期待され青少年の健全育成に貢献する組織の確立
 - ・地域の子どもや保護者にとって、気楽に参加できる環境や活動内容が整備された団体としての構築
 - a. 幼児期から青少年期までのスポーツを担う団体
 - ・幼児期の子どもたちに運動することの楽しさ、喜びを伝え、小学生の時にストレスなくスポーツ活動に取り組んでいける環境づくり
 - ・中高校生になってもスポーツ活動を継続できる環境づくり
 - b. 地域社会からの認知度の向上
 - ・子どもからお年寄りまで地域住民と一体となった内容を展開することで地域との良好な関係の 構築
 - c. 地域における育成母集団の役割の拡大
 - ・スポーツ少年団と地域を結ぶパイプ役としての役割
 - ・指導者と連携した団運営
 - ③地域スポーツクラブとしての発展
 - ・幼児から高校生まで、そしてその保護者までも対象として加え、動きづくりや楽しむスポーツから競技スポーツまでといった、幅広い活動の受皿となるスポーツ少年団の再構築
 - ・総合型地域スポーツクラブとの連携・協力

(3)活動の更なる充実に向けて

- ①多彩な運動プログラムの提供と運動適性テストの活用
 - ・主となるスポーツ活動だけではなく、移動系・操作系・平衡系の動作など様々な動きを含む多彩な運動プログラムの実施や様々なスポーツの経験の促進
 - ・運動適性テスト実施の向上及び結果に対する評価・活用の充実
- ②勝利至上主義偏重からの脱却
 - ・スポーツの楽しさ、素晴らしさを追求することの再確認
- ③団員の加入率アップと中高校生のスポーツ活動の促進
 - ・未加入の子どもたちが加入したくなる種目を取り入れることや志向あるいは活動の仕方が違う部門を設けるといった工夫をして、地域に向けての窓口や受け皿の拡大
 - ・スポーツ活動ができなくなった<u>中高校生や地域の中で継続的にスポーツ活動を</u>行いたいと願う子 どもの期待に応えるとともに、積極的に加入を呼びかけるなど、地域スポーツクラブとしての発展

●なぜ中学生を主な対象にしたか

12 才から 15 才ぐらいまでの少年は、心身の発達がもっとも旺盛な時期であるため、十分に心身を鍛えておく必要があります。

また、この年代は陶冶性も高く感受性の非常に強い年頃ですから、つとめて社会からの影響を考慮し、人生に希望と理想をもった、積極的な社会の建設者に育てることも大切です。

次に大切なことは、12 才以上の年齢になりますと、小さい子どもと同じ活動ではあきたらなくなってしまいます。もう少し組織的なスポーツを中心にした活動とそれを行う組織および良い指導者のお世話になる必要があります。このような理由があるのに、現在わが国にはこの年齢層を中心にした社会的な組織活動が行われておりません。そこで中学生を中心にしたスポーツ少年団が考えられたわけです。

1 地域スポーツクラブとしての発展

スポーツ少年団は、登録団員の約9割が小学生であり、単位団での定期的な活動や大会参加が活動の中心である。同じ地域で生活している子どもであるにもかかわらず、種目が異なるなどにより他の単位団と活動を一緒にできる場が全くないこともある。また、同じ地区に同一種目の成人チームがあるにもかかわらず面識がないため協力してもらえないこともある。青少年にかかわることは、地域の大きな関心事であり、種目や年齢を限定せず、さまざまな人びとがかかわることができるような地域スポーツクラブへと発展していくことがスポーツ少年団の理念に適った姿と言える。

2 中・高校生の継続活動および学校運動部活動との連携

小学校の卒業を契機にスポーツ少年団活動をやめてしまう団員が多いのが現状である。『スポーツ少年団登録規定施行細則』には、「団員は登録する年の4月1日現在満3歳以上とする。」と明記されている。すなわち、中・高校生が地域のスポーツ少年団で活動することを前提としており、それは中・高校生にとって小学生と同様に大切なことなのである。今まで中高校生のスポーツ少年団活動と学校運動部活動とが両立しないこともあったが、学校においても「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」で示されているように生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境の整備などにおいて地域との連携すなわちスポーツ少年団との協力を必要としている。これからは「卒団式」「退団式」をやめ中・高校生が団活動に参加しやすい環境を整備し、スポーツ少年団指導者が部活動指導員や外部指導者として学校運動部活動の指導を担うことが求められる。そのためにもより一層学校と連携していく必要がある。

3 指導者およびリーダーの拡充

スポーツ少年団活動をする上で指導者の存在は欠かせない。また、将来の指導者であるリーダーの存在も同様である。団員により良い指導をするためには、スポーツ少年団の理念を理解し団員を中心に据えて(プレイヤーズセンタード)その意思や能力を尊重し引き出すことができる指導者およびリーダーの量的拡大と質的向上が必要である。より一層の指導者の資質向上のためには、団員を取り巻く全ての成人が公認スポーツ指導者資格である公認スタートコーチ(スポーツ少年団)、更にはその上位資格を保有することが期待される。

<u>リーダー活動は</u>、将来指導者になるための資質を高める上で重要なことである。同時に小学生と同じくスポーツ活動に参加する主体でなくてはならない。中・高校生の継続活動と並行して、リーダースクール*7 などへの参加を通じ、指導することの楽しさや素晴らしさを理解するリーダーの拡充が必要である。

4 幼児から高校生までの幅広い年代への対応

近年、運動遊びやスポーツなどの運動経験が乏しい幼児期の子どもたちが増加しており、小学生になったときにスポーツに対する抵抗感が高く運動嫌いになっている可能性があると指摘されている。これがスポーツ少年団への登録者数減少の一因になっているとも考えられる。したがって、就学前の子どもたちへの働きかけを積極的に行い、幼児の受入体制を整える必要がある。そのためには、①地域の幼稚園教諭などに働きかけて連携したり、②指導者にジュニアスポーツ指導員※8の資格取得を勧めたり、③女性指導者を含む複数の指導者による指導体制を築いたり、④育成母集団へ活動への一層の参加を促す、などの方策が考えられる。また、生涯スポーツへとつなげるためにも中・高校生など幅広い年代にあった指導内容・方法の検討も必要である。今後「アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)※9」や「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)※9」や「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム※10」(3-6参照)を活用した活動の普及・実践が期待される。

令和6年度山形県中学校総合体育大会 地域クラブ活動に関する参加資格細則

AT. 1.00	alada I I.
体操	競技

		〇 個人種	目							
	競技・種目	O 団体種目								
	対象	〇 専門部	O 専門部による細則なし							
	参加大会	O山形県)山形県中学校総合体育大会							
	団体条件	〇 専門部	による細則なし							
参加資格		団体	O 日本体操協会に登録されていること O 大会参加申込書に I Dを記載すること							
真格	競技団体登録	選手	O 日本体操協会に登録されていること O 大会参加申込書に I Dを記載すること							
		指導者	○ 日本体操協会に登録されていること○ 大会参加申込書に I Dを記載すること							
	指導者	O 専門部による細則なし								
	大会運営	O 競技役員として1名を拠出すること								
	競技独自	○ 団体での参加の場合は、団体選手の全員が「地域移行モデル地区や自治主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行受け皿となっているクラブ活動」、又は同一学校に在籍していることを件とする。								
	競技方法	O 少なく O 学校登 O 同一校 校団体 ※ただ	への出場枠≫ とも1枠は学校登録団体とする 録団体がない場合は、クラブから補充する からクラブとして1チーム、クラブに所属していない生徒で学 として1チームの2団体が参加できる し、同一校生徒により構成された2つの団体のうち、上位団体 がブロック大会に進むことができる							

小小
1.0
恒
长
校
口学校体
用口用
金の全国
6
四
以
年度以
9年度以降(
9
阳
命和9

(20%) (1) (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7
--

<※令和4年度調査データに基づく>

(河準D)

令和9年度以降開催競技

公益財団法人 日本中学校体育連盟

- 陸上競技 (男·女)
- 2 バスケットボール (男・女)
- 3 サッカー (男)
- 4 軟式野球 (男)
- 5 バレーボール (男・女)
- 7 卓球 (男·女)

6 ソフトテニス (男・女)

- 8 バベントン (男・女)
- 9 ソフトボール(女)
- 11 剣道 (男・女)

10 柔道(男·女)

- ※男女とも部活動設置率20%未満の競技を原
- ※ソフトボール女子は、部活動野똃生徒数が 25,000人を超えているので開催。
- ※開催競技は大会規模縮小の目標値を設定して
- ※スキーは令和11年度まで開催。
- ※サッカーと軟式野球は、選手に女子を含むことも

スポーツ少年団と総合型クラブとの連携体制構築イメージ

JSPO OSO

超長期目標(~2XXX年)

過程OAS

地域にあるそれぞれのスポーツクラブや団体が…

町域にあるそれをれの人ホーツクフノや団体が ・互いに認知し、相互尊重し、連携している。

・特徴を活かして、地域における多様なニーズに応えるスポーツ活動の提供に貢献している。

・資源を共有し合い、地域におけるスポーツ活動の充実に貢献している(持続可能性の向上、機会の拡大、質の向上)。

⇒現状、スポーツ少年団と総合型クラブでもこうした連携体制がまだまだ構築されていない。

まずはスポーツ少年団と総合型クラブの連携における短・中・長期目標を設定 超長期目標と現状のギャップを埋めるため、

中期目標(~2030年)

総合型地域スポーツクラブ

スポージシ年四

- 6-

スポーツ少年回連携 スポーツクラブ

★連携体制の拡大<目標への取組>

総合型地域スポーツクラブ

スポーツ少年団 連携

★連携体制構築開始

<回標への取組>

短期目標(~2027年)

◎連携促進の具体施策実施拡大

短期で検討した具体施策の実施・拡大 ⇒指導者等の人材や会員、活動場所や 活動機会等の共有が平常化

→連携の必要性やメリットの認知が拡大

都道府県⇒常任委員会(スポツ)×連絡協議会(綜含型SC)

⇒常任委員会(スポツ)×常任幹事会(総合型SC)

JSPO

◎連携促進会議の設置(統括組織の連携)

既存事業での連携や新規事業検討、先進事例を共有

◎連携促進の具体施策を検討・実施

⇒一緒に活動や事業を行う機会が増える

⇒会話や情報共有の機会が増える

⇒連携の必要性やメリットが認知され始める

◎「地域スポーツクラブ」の概念の普及よりは、10年代では、10年代では、10年によった。

…住民が主体的に運営するスポーツ団体 (スポーツ基本法より)※今後の法改正も根野に入れる

長期目標(~20XX年)

総合型地域 スポーツ少年回 スポーツクラブ

★「JSPO地域スポーツクレブ(仮)」制度の構築 <目標への取組>

◎両制度の統合検討

⇒変わること/変わらないことの整理

◎「JSPO地域スポーツクラブ(仮)」としての認識拡大 ⇒現場レベルでの連携が平常化

⇒多様な連携方法、在り方が拡大

◎「JSPO地域スポーツクラブ(仮)」制度の普及 ⇒行政への理解促進を図り、条例や法整備を働きかける

(人ホーン基本)なより)※今後の法改正も視野に入れる

©2024 Japan Sport Assovition All Rights Reserved.

※全ての欄で不足分は別紙にて添付

山形県中学校体育連盟

地域クラブ活動 登録申請書

申請日		年	月	E E
競技名				
口压力				
一団体名 ※規約の通りに記載				
競技団体登録ID		設立 年月	年	月
団体住所 ※登録証郵送のため、部屋番号等まで記載	⊤			
代表電話	g = 1	FAX		2 T B
代表者氏名	(I)	役職 ※クラブĿ		,
勤務先		電話		
連絡責任者氏名		役職 ※クラブ上		
勤務先		電話		
連絡用E-mail				
指導者氏名	指導者資格 ※不	足分は別紙	にて添付	年齢
)	L 活動状況(活動日・活動	場所等)		
選手在籍学校連絡 担当者氏名(学校)	()			()
出場競技・種目			男女別	
出場チーム名予定※クラブ登録名と異なっていても可	8 8 7			
引率予定者氏名		年齢		
監督予定者氏名		年齢		
十二个公司子中老氏友		年齢	9	
大会役員予定者氏名		年齢		

令和6年度 山形県中学校体育連盟

地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の登録要件チェックシート 要件内容を確認し、該当していれば / でチェックしてください。

		11111	筝を確認し、談当していれば √ でナェックしてください。
	内容		詳細
	① 登録		各競技の競技団体へ登録していること
	① 全球		各専門部で求められている登録(選手・指導者等)を完了(申請)していること
	② 規約		クラブとしての規約があること ※施行が登録年月日よりも前である
	③ 実績	口翁	組織として登録申請日以前に活動実績があり、今後も継続的な活動が見込めること
	A to t		募集要項等があり、当該クラブでの活動を希望する生徒が所属可能であること
	④ 加入	}	※不特定多数に周知できるような方法がとられている
組	⑤ 運営	□ j	運営役員等が体系的に組織され運営していること
織		口翁	組織の運営において、会計担当者・監事がいること
	⑥ 会計		予算と決算をたて、毎年監査を行うなど会計が明朗であること
	@ \\mu \tau \\		指導者資格(JSP0(日本スポーツ協会)認定等種類不問)をもった指導者が在籍してい
	⑦資格	,	ること ※令和6年度は県総体までの猶予とする
	@ 4A 2 tm		クラブとして登録年度の中体連主催大会への出場意思があり、クラブから大会出場
	⑧ 大会参加	Ţ	意思のある選手が正規試合人数を満たしていること
	⑨ 指導者		指導者は、体罰やハラスメント行為等を決して行わないこと
	(1) H / IV		『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン』
活	① ガイド ライン		(令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出)の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵
		<u> </u>	守していること ※山形県中学校体育連盟HP掲載
	② 連携		所属学校や保護者など、所属生徒の関係機関と日常的に十分な連携や協力が図られ
			ていること ※所属生徒の在籍学校担当者を把握している
動	③ 保険		日常活動・大会参加・移動時を含めた全活動を補償する保険に加入していること
	④ 研修		指導者養成研修等の研修会(主催不問)へ定期的に(1年1回以上)参加していること
	© \$1.000		適切な休養日の設定(平日・週末各1日)をした年間・各月活動計画を公表し、遵守
	⑤ 計画		していること
	① 条件		「県中体連主催大会基本要項 参加資格の特例」を満たしていること
	何		居住地と在籍学校が山形県内の生徒だけで大会エントリーメンバーが組織されてい
	② 編成		ること ※個人・団体どちらも該当する
	(A) th':		大会基本要項・競技要項に則り、クラブの代表者もしくは責任者の押印の上、クラ
	③ 申込		ブで責任をもって申し込むことができること
大			クラブの責任ある代表者・指導者が生徒を引率・監督すること
参加加	④ 引率・監督		引率者や監督に規定違反や不適切な言動がないこと
		<u> </u>	監督は一連の大会全てを通じて複数チームの監督を担わないこと
	⑤ 運営協力		実行委員会・大会役員・競技役員として、準備期間から大会運営に参画可能である
			こと
			各専門部の細則で示された大会運営協力に携わる人数を拠出できること
	⑥ 費用負担		「各大会基本要項」に記載された参加料や経費負担の応分について支払いが可能で
1	世 貫用頂担		あること
	⑦ 専門部細則		山形県中学校体育連盟主催大会について各専門部の細則について遵守していること
	1	•	

記載責任者 氏名

印

≪留意点≫

※山形県中学校体育連盟は、中学生の健全な成長のために、教育活動の一環である部活動に準じる内容を地域クラブ活動に求めます。その趣旨に賛同できない場合や上記要件に当てはまらない場合、虚偽の内容が判明した場合は、登録や参加を認められません。また、引率者・監督として相応しくないと大会本部か判断した場合は引率者・監督の退場もあり得ます。

※各地域クラブ活動の審査については、県中体連で実施し、各競技団体に照会を依頼いたします。

※本要件は、山形県中学校体育連盟独自のもので、他県や他ブロックと異なる可能性があります。

令和5年度 立川体操クラブ会員・スポーツ少年団団員名簿 2023年 7月25日現在

No.	学年 氏名 保護者名 住	所電	話	考
1			1	
2				
3				
4				
5				
6				
7			+	
8			+	
9	+		+	
			+	
10	_		. +	
1 1	-			
12			+	
1 3				
14	_		1	
1 5			_	
16				
17	T			
18				
19			1	
20				
21	+		_	
			+	
22	+		+	
23			+	
24	<u> </u>		+	
25			1	
26			1	
27				~
	< 令和5年度 役員 >			
	* 保護者会長			
	* 同 副会長			
	* 会 計	y e		
	* 監 事			
備			(連絡先)	
備	* 監 事		(連絡先)	
備	* 監 事 < 指 導 者 >	携帯	(連絡先)	
備	* 監 事 < 指 導 者 > *		(連絡先)	
備考	* 監 事 < 指 導 者 > * (中学校地域クラブ指導者)		(連絡先)	
	* 監 事 < 指 導 者 > * (中学校地域クラブ指導者) * (中学校地域クラブ指導者)	携帯	(連絡先)	
	* 監 事	携帯	(連絡先)	
	* 監 事	携帯	(連絡先)	
	* 監 事	携帯	(連絡先)	
	* 監 事	携帯	(連絡先)	
	* 監 事	携帯	(連絡先)	
	* 監 事	携带	(連絡先)	
	* 監 事	携带	(連絡先)	
	* 監 事	携带	(連絡先)	

@ 個人情報の保護には十分ご留意ください。

立川体操スポーツ少年団 規約

(名称及び事務局)

第1条 本団は「立川体操スポーツ少年団」と称し、事務局を代表者宅に置く。

(目 的)

第2条 日本スポーツ少年団団員綱領に基づき、体操競技を通して団員の健全育成に資することを目的とする。

(活動内容)

- 第3条 本団は概ね次の活動を行う。
 - 1. 体操競技の練習及び大会への参加
 - 2. 社会参加活動並びに奉仕活動
 - 3. 町スポーツ少年団本部事業等への参加
 - 4. 団員の親睦
 - 5. その他必要な活動

(団員構成)

- 第4条 本団員は幼稚園児から中学生までとする。
 - 1. 本団員は全員スポーツ安全保険に加入する。
 - 2. 本団員は全員国・県・町スポーツ少年団本部に登録する。

(組織及び任務)

- 第5条 本団には次の組織員を置く。
 - 1. 団 長 1名 本団を総括する。 2. 副団長 1名 団長を補佐する。
 - 3. 指導者 若干名
- 本団員の指導に当たる。
- 4. 指導補助者(スタッフ) 本団員の指導を補助する。
- 5. 会 計 1名
- 6. 監事 1名

(育成母集団)

第6条 本団を支える組織として、第7条に定める育成者をもって構成し、財政・労力・ 精神面・地域貢献等の支援を行う。

(育成者)

- 第7条 次の育成者で構成する。
 - 1. 団員になった者の保護者
 - 2. 本団の目的に賛同する個人、団体

(会議)

- 第8条 育成母集団総会は、年度に1回行い、次のことを議決する。必要に応じて臨時に 開くことができる。
 - 1. 役員の承認
 - 2. 事業計画の承認
 - 3. 予算及び決算の承認
 - 4. 規約改正の承認
 - 5. その他本会運営の必要事項

(会 計)

第9条 本団の経費は、年会費、育成母集団費とその他の収入を持ってあてる。

(会 費)

第 10 条 会費は、団員 1 人当たり 1 年 5,000円とする。 スポーツ少年団登録料 1 年 1,000円を徴収する。

(会計年度)

第11条 本会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(簿 冊)

- 第12条 本団には次の簿冊を備える。
 - 1. 規約
- 2. 団員名簿
- 3. 会議録
- 4. 会計簿

5. その他必要な帳簿等

(規約の改廃)

第13条 本団の規約の改廃は、育成母集団総会において出席の過半数を持って決定する。 (付 則)

本規約は、平成21年4月1日より施行する。

本規約は、平成25年4月1日に一部改正。

本規約は、平成31年4月1日に一部改正。

本規約は、令和6年4月1日に一部改正。



(公財)日本体操協会 会員登録管理システム Japan Gymnastic Association: Online Membership Registration System

立川体操クラブ (男子および女子・体操競技) 登録担当者

さん

加入中海:海滩

加入中議処理履歷一》

個人会員

検索結果 309件中 1-20件目

吴留/受理/差 戻	ID	氏名	所属区分	申請日	受理日	受理登録担当 者
受理 登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			
受理 (登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			
受理 (登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			
受理 (登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			
受理 (登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			
受理 (登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			
受理 (登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			*
受理 (登録担当者による登録 のため自助受理)			選手		•	
受理 (登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			
受理 (責任者による受理取消 済み)			選手			
受理 (登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			
受理 (登録担当者による登録 のため自動受理)			選手			
受理			選手			

图名(No.) 0642800019	余目陸上スポーツ少年団	種目	陸上競技	対象地域	庄内町全域·町外			
活動理念	意動理念 運動能力向上を目指し、遊びを取り入れた練習から専門的な種目練習まで、 幅広く楽しく活動する。							
対象者	小学1年生以上 男女							
練習日時	每週木曜日 午後5時30分~7時30分 每週土曜日 午前9時30分~11時30分							
	木曜日/庄内町総合体青館 土曜	日/余目	中学校グラウン	ド(雨天時:総合体	本育館等)			
練習場所	(冬期間は木・土曜日ともに庄内町総	合体育的	宿)					
会 費	年会費 6,000円							
代表指導者	運絡先							
備考	※幼児の受け入れはしておりません。	,						

団名(No.) 0642800020	立川野球スポーツ少年団種	目 軟式野球	対象地域	庄内町全域
活動理念	野球を通じて、協調性を身につけ、スポー	ツができることへの	感謝を忘れず、仲間	き
冶咖啡品	思う気持ちを育てる。		,	
対象者	小学1年生以上 男女			
40 313 C 02	夏期 火·木曜日 午後4時00分~6時00分	} 土曜日 午前9日	時00分~12時00	分
線習日時	冬期 火·木曜日 午後4時00分~6時00	分 土曜日 午前9	時00分~12時00	0分
線習場所	[夏期] 立川小グラウンド(雨天時:立川/	、体育館又は庄内町	体育センター)	
報音場別	[冬期] 立川小体育館			
会 費	年会費15,000円			
代疫指導者	連絡先			
谱 有	※幼児受け入れ可能です。ただし、保護	皆付き添いをお願い	ょす。	

团名 (No. ') 0842800023	立川桑道スポーツ少年団	種目	桑 道	対象地域	庄內町全域		
活動理念	柔道を適じて身体を鍛えることにより、	心を磨き	、あいさつ、礼	法・礼節の精神を身	lにつける。		
対象者	小学1年生以上 男女						
練習日時	每月予定衰配布 午後6時30分~8	時30分	(夏期、冬期間	司じ)			
練習場所	立川中学校柔剣道場						
会 曼	年会費 7,000円						
代臺指導音	連絡先						
備考	※幼児受け入れ可能です。						

团名(No.) 0842800025	立川バドミントンスポーツ少年団	種目	パドミントン	対象地域	庄内町全域				
活動理念	健全な心と体を育成することを目的としスポーツの楽しさを知る。								
対象者	小学1年生以上 男女								
練習日時	毎週月・火曜日 午後7時00分~8時30分 毎週土曜日 午後1時30分~4時30分(冬期も同じ)								
練習場所	庄内町体育センター								
会 費	年会費 10,000円								
代臺指導者	連絡先				· ·				
備考	※庄内町以外の方は要相談となります	t.							

团名 (No.) 0842800028	立川体操スポーツ少年団	種目	器械体操	対象地域	庄内町全域·町外			
活動理念	・スポーツの基本である体操を適して、体を動かす楽しさを味わう。 ・仲間とともに励まし合って練習し、異学年の友情の輪を広げる。							
対象者	4歳児以上中学生まで 男女							
練習日時	月·火·木·金曜日 午後6時00分~	8時00分	计 土曜日 午前	9時00分~12時	00分(冬期も同じ)			
哪直口呵	(上記のうち、週1~3日を選択する。	.)						
練 習場所 庄内町体操センター→余目四小譜堂								
会 費	費 年会費 5,000円 (兄弟姉妹2人家族の場合は6,000円)							
代臺指導者	連絡先							
備寄	※幼児及び新入団員(初心者)は最	初1時間	~1.5時間からス	タートします。				

可具

スポーツ少年団登録システム 7 🗙

同一人物を団員/指導者/役員/スタッフの複数に同時登録することはできません

同姓同名の同一人物の可能性がある該当者の氏名の左横に警告マークが表示されますので、再度ご確認ください

22		小学5年	更新
23	来「	小学6年	更新
24	来年度該当者	小学6年	更新
25	当者	中学2年	更新
26		中学3年	更新
27		中学3年	更新
28		中学3年	更新

指導者 (有資格者名簿)

同一人物を団員/指導者/役員/スタッフの複数に同時登録することはできません

同姓同名の同一人物の可能性がある該当者の氏名の左横に警告マークが表示されますので、再度ご確認ください

並び順 生年月日 (昇順) ♥

更新する

	氏名	個人ID	生年月日	性別	資格の確認	理念	連絡先	更新区分
1	齋藤 雅志 サイトウ マサシ				確認済	0	登録済	更新
2	大川 恵 オオカワ メグミ				確認済	0	登録済	更新
3	鈴木 豊 スズキ ユタカ		- 1	3-	確認済	0	登録済	新規

令和6年度の立川体操スポーツ少年団活動について

令和6年4月

1 組織及び活動日時について

◇ 名称及び所属(対象)

「立川体操スポーツ少年団」(幼児~中3)

- ・ 庄内町、山形県、全国スポーツ少年団組織の中に位置付いています。(それぞれ登録料)
- ・ 庄内町スポーツ少年団に所属して活動をしています。

「立川体操クラブ」(幼児~中3)

- 山形県体操協会及び日本体操協会に登録します。(小学生以上;登録料)
- ・ 山形県ジュニア体操協議会、東北ジュニア体操連盟にも加盟します。(団体加盟金)
- ※ 団費及びクラブ費は、随時徴収します。年度途中の入団やクラブ加入も可能です。

◇活動日時

- 「スポーツ少年団」としては、
 - ~ 毎週、月・火・木・金の<u>18:00~20:00 (幼児は18:00~19:30ころ)</u> 及び土曜日<u>9:00~12:00 (幼児は9:00~10:30ころ)</u>のうち 2~3日を選択して活動します。(都合のいい曜日を設定して練習に来てください)
- - ~ 原則、水曜日、日曜日は休養日です。大会があった場合は、次の練習日は休みになります。 (詳しくは、指導者の都合も調整の上、毎月のおたよりでお知らせします。)
- ※ 都合がある場合(家族計画や地域行事が優先)や、体調が悪い場合は、休んでも結構です。 また、緊急に予定を変更する場合は、連絡網(ライン等)を作成してお知らせします。

2 練習及び活動の進め方

- ◇ スポーツ少年団の理念に基づき、スポーツ活動(練習や大会)のみならず、団員相互や他団との 交流を図るとともに、ボランティア活動などの奉仕活動も行っていきます。
- ◇ 練習の進め方
 - ・ 団長を中心に、準備運動をし、その後にマット、跳馬(跳び箱)、平行棒・平均台(女子)、円馬・鉄棒(男子)の種目を、中学生といっしょに1日に2~3種目を選んで練習をします。
 - ・ 服装は、運動着(女子は、レオタードでも)で行います。メビウスも準備しましょう。
- ◇ 練習 (活動) 中の約束
 - 玄関では、くつをきちんとそろえ、かばんなどもロッカーにきちんと入れます。
 - 体育館に入ったらあいさつ(他の人にも)をし、練習が始まるまで掃除をして待ちます。
 - ・ 練習は、指導者の指示にしたがって、てきばきと練習します。応援の声もかけましょう。 (特に、トランポリンは、けが防止のため1人ずつやる練習の約束を守ってください。)
 - ・終わったら、器具などの後始末をし、きちんとあいさつをして帰ります。

(ジェットヒーターのスイッチや鍵などは、子ども達はさわらないでください)

- ◇ けが等の防止:けがをした場合、スポーツ安全保険で対応します。速やかにお知らせください。
 - ・ 特に、指導者が来る前や練習後は、勝手な行動をしないで安全に過ごしてください。
 - ・ 水分補給は、各自で準備して行ってください。 ・ コロナ感染予防にもご留意ください。

3 令和5年度の主な活動予定

- ◇ 総会、お楽しみ会、奉仕活動等
 - ・4月;総会、顔合わせ会、座禅会、地域美化活動・12月;大掃除,クリスマス会
- ◇ 主な大会参加

・3月;送別会

- ・5月;酒田市体育大会(欠の予定)
- ・10月;山形県ジュニア体操競技選手権大会
- ・10月; 山形県少年少女スポーツ交流大会
- ・12月; 庄内地区ジュニア体操競技選手権大会

- ◇ スポーツ少年団本部活動
 - ・4月; 庄内町スポーツ少年団リーダー研修会 ・8月; 庄内町スポーツ少年団大会

* 活動場所 庄内町体操センター ➡ 余目四小講堂(体操練習場)

* 代表指導者

指導者

指導者

* 中学校顧問

(立川中学校教頭)

0234-56-2075

体操クラブだより 第 2 号 4 月 23 日発行

新体制で元気に又勿り



4	4 1	引分予定表			5 月	分 予 定 表		6 月	1 分 予 定 表
月	曜	練習日等予定	見方	月	一曜	練習日<川崎新館)	日 日	曜	練習日 <mm< th=""></mm<>
1	月	0	150	1	冰	X	1	土	◇ (斎藤~日本スポッ糸)金)
2	火	0	OA	2	木	\$	2	B	×条四小和台灣動会
3	水	X	練中	3		〇9:00~毫法纪念日	3	月	0
4	木	♦	智学	4	A	〇分の~ みどりの日	4	عو	0
5	金	〇 (始集式)	練り学生の	5	(F)	大阪で180分ともの日	5	水	X
6	土	X(小中学校入学式)	DA	6	A	◇9:00~ 海替休日	6	木	♦
7	B	X	冷蒙	7	火	〇年被外	7	金	0 < >
. 8	月	〇 (複替水津日)	斎康	8	水	× (中学校田川駅伝)	8	+	女 个国民スポーツ大会、株子芸会
9	火	0 < >	不,	9 .	木	◇ , 余日中新地域公会	9	H	☆↓(海田アリーナ)
10	水	X(两x种沙喇門新会)	不在の練習日	10	金	◇信養~地区スポツ会議	10	月	0
11	木	\Diamond	練更	1 1	土	女座社会・7小公司	11	火	0
12	金	★ 町スポーツ水町結団式	昭日 X練	12	日	X	12	冰	×
13	土	0 暑判講習会(新規)	日为	13	月	0	1 3	木	◇ 个立门小5年自然教宣
14	日日	X	XZ	14	火	0 (14	金	0 1 <
15	月	0	練は	15	水	×(町x赤沙松系)	15	土	0
16	火	0	メ練習休み	16	木	♦	16	Ħ	大田川地区小中港北京
17	水	× 立川中部港フラブ連絡会	外が	17	愈	0	17	月	0
18	本	♦ < >		18	土	09:00~	18	火	0 郭洁德让一
19	金	0	★連	19	H	X	19	水	X
20	土	0	印食	20	月	0 <	20	木	◇ 16年 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
2 2	日	X	行事す	21	火	〇「余日中3年梅芹茶石」	21	鱼	◇小東北高核体操大会
23	月		要す	22	水	X(山体连座上大会)	22	土	◇ (44) 金光達 電子
2 4	火	○ (5月分おたより影行)	大会行事等	23	木	◇ 16月分中たより発行)	23	H	× ~ 奇感出席
25	水木	X	<>	24	金	◇協議~県スだ沙会議	24	月	(立門这門立
26	金	0 ()	度	25	土	09:00~	25	-	〇(7月分おたより挙行)
27	土	0	F	26	A	X &	26		x \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
28	耳		2	27	月	0 0	27		◇1分小年 1条日中
29	角	食町スポッツーダー部が会	掃	28	火	0	28		○小学游厅。↓期末汉卜
30	火	〇立川中郭浩结成式	账	29	The second secon	× Y	29		〇余=小4年山形旅行
5/1		X	掃除当番	30		♦	30		文 V-12标学奖(75%)
J/ T	14	^		3 1	金	0 < "	7/1	月	0

加入手続履歷

入金済み加入者表示

年度を選択のうえ、入金済み加入者を表示、検索してください。

加入年度選択

2023

年度

全入金済み加入者を一覧に表示

加入依頼番号の昇順

ごとに 区分の昇順

順で

表示

加入者を検索

瓦名 部分檢索

檢索

- ※加入時に入力した形式で入力してください。(原則漢字で登録されています。)
- ※氏名の一部でも検索ができます。(全角)
- ※フルネームでの検索の場合は、姓と名の間にはスペースを入れないでください。

印刷

年度 加入依頼番号 区分 氏名 性別 年齢

2023

2023

2023

2023

2023

2023